



吉田光延 画

発行 社会福祉法人いわき福音協会
はまなす 荘
いわき市平中平窪字二堂田2
〒970-8002 ☎(0246) 8711
編集責任 はまなす荘新聞編集委員会

過去、現在そして未来へ

所長：新妻 登

昭和四十八年四月、はまなす荘は開所しました。いわきの手をつなぐ親の会の「いわきに入所施設を」との要望に県が建設し、その運営を社会福祉法人いわき福音協会に委託しました。

その当時は、本人・家族の話を聞き、入所の決定は行政が行う「措置」の時代でした。昭和五十二年九月、精神薄弱者(当時の名称)の理解促進活動「精神薄弱者愛護月間」が全国的に展開されており、いわきでも児童施設「あきひがおか学園」、成人施設「いわき学園」、「福島県はまなす

荘」が共同で作品展示会やチラシ配りの街頭活動を行いました。

昭和五十六年、「国際障害者年」障害者の社会への「完全参加と平等」をテーマに、いわきでも市内の施設が集まり、第一部障害のある人達の劇や音楽、第二部アグネスチャンコンサートを開催し、関係団体の連携を強めていきました。

——平成十一年、はまなす荘は、「障害があっても地域の中で生活し、地域の中で働き、活動するのが本来の姿」という福祉の大きな流れの中で、敷地内の職員宿舎を使い自立訓練をスタートさせ、翌年には平窪地区内に住宅を借りて生活し、日中ははまなす荘に通って来て作業を行う形で地域生活移行に向け取り組み、

また、昭和四十八年開所から三十年近く経過していた為施設改築の話も持ち上がった。——

平成十五年、戦後続いてきた「措置」から、サービス利用は本人と法人の「契約」という支援費制度へ大きな転換をしました。又、対等な関係で契約ができる為に補完する仕組みとして、成年後見制度や苦情解決制度が整備されました。

その結果、それまで潜在化していたニーズが利用契約と変わった為、一気に表面化し財源不足に陥りました。それを解消する為、平成十八年「障害者自立支援法」に変わっていきました。

新法では、サービス利用時の本人負担や認定調査の仕組みの不具合さを障害者本人・サービス提供事業所等から指摘と改正が求められました。

そして平成二十五年四月、障害者の要望を不十分ながらも取り入れた「障害者総合支援法」がスタートしました。その基本理念は「共生社会の

実現」であり、いわき市においても、平成二十六年度から七年間の第四次障がい者福祉計画策定にあたり委員会検討されていますが、ぜひ計画に盛り込まれた事が七ヶ年どのの時期に実施していくかというロードマップを作り実現に向けて進んでもらいたいです。

——はまなす荘は、利用者の地域生活移行と施設入所定員の削減(百名から五十名へ)を伴った施設の全面改築を国県市はじめ多くの人達の支援を受けて行い、平成二十二年十二月に新しい施設で業務を再開する事ができました。

しかし、翌平成二十三年三月十一日、東日本大震災にあり、はまなす荘利用者はじめ、地域の中で生活をしている多くの障がいのある人達が苦しみを受け、それは未だに続いています。——

私達は、今までの歩みを振り返り、受けて来た多くの支援に感謝し、地域の中の法人、法人の中の事業所として、施設利用者は勿論、地域の人達

南限の花

娘が十二月で二歳になりました。

初めての育児で毎日悪戦苦闘していますが、反面、子どもの日々の成長を感じる事ができると、嬉しく思います。

「ママ」、「おいしい」等の言葉が少しずつ増えて、大人の話している事を理解して行動したりする姿が見られたり、ブロックを使ったりおもちゃ遊びや遊具での遊びがいつの間にかできるようになっていたり、驚いたり喜んだり毎日楽しい事がたくさんあります。

「子どもと一緒に遊び、一緒に学び、一緒に育つ」右記をモットーにして家族で協力していきたいと思っています。

の要望に応え、少しでも社会貢献できる職員集団でありたいと思っています。

歴史を大事にし、歴史に学び、次世代にもそれらを引き継いでほしい進んでいきたいです。

暑氣払い



八月八日、パレスいわやにて、暑氣払いが行われました。まず始めに、係から説明をし、次に所長さんの挨拶、そして自治会会長の岩崎さんの乾杯にて会食となり、みんなで歓談をしながら美味しい食事に舌鼓を打ちました。

食後は、恒例のカラオケにて自慢の喉を披露し、みんなで歌ったり踊ったりしました。

みはま福祉祭り inはまぎく

九月七日、第二十七回みはま福祉祭りがはまぎく荘で開催されました。

今年は、前日が雨天で当日も雨が心配されましたが、天気も持ち直し、予定通り外で開催する事ができました。

今回、新たなアトラクションとして、キビタン訪問や湯本高校ダンス同好会のフラダンスがありました。毎年来て



た。また、急遽、はまなす荘の専属歌手(？)はまなすさんが登場し、盛り上がった会場を更に盛り上げてくれました。

最後に日頃みんなで行っていた、氷川きよしの『きよしのズンドコ節』に合わせて体操を行い、幕を下ろしました。地球温暖化の影響か、毎年、昨年より暑さが厳しいと

頂いている子供さんから、平商業高校の吹奏楽、菊池章夫さん、響会太鼓演奏も含め会場を大いに盛り上げてくれました。

また、多くのボランティアの方々のご支援、ご協力もあり、盛況のうち祭りを終える事ができました



言われていますが、暑氣払いを終え、今年も暑い夏を乗り越えられそうです。



来年も引き続きご支援、ご協力頂ければうれしく思います。ありがとうございました。

県障がい者

フライング ディスク大会

九月八日(日)、第十四回障がい者フライングディスク大会が、田村市陸上競技場で行われました。

ディスク競技、アキュラシー競技の二種目に分かれて競技が行われ、ディスク競技には男子五名、アキュラシー競技には女子三名の計八名が参加しました。

大会当日は天気が悪く肌寒かったですが、利用者の皆さんは自分の力を出し切って競技を行い大会を終りました。



みはま愛護の会

研修旅行

十一月七日〜八日、一泊二日で恒例のみはま愛護の会研修旅行が行われました。

一日目は、埼玉県にある社会福祉法人むさしの郷『ながい寮』と『むさしの青年寮』の見学を行いました。当事業所は、はまなす荘の大きな課題である日中活動が充実しており、見事なちぎり絵の作品を集めて作ったカレンダーや陶芸作品等、どれも素晴らしい作品ばかりで大変参考になりました。今後の日中活動に生かせればと感じました。

夜はまちにまった宴会で、普段ゆっくりと話ができないせいもあり、盛り上がっていました。

二日目は小江戸川越散策等、最後まで内容盛りだくさんの見学内容で、二日間の研修旅行でしたが、あっという間でした。

次年度も、ぜひご参加お待ちしております。

秋のふれあい レクリエーション

十月十一日、秋のふれあいレクリエーションをみはま体育館で行いました。

今年度より名称が秋の園遊会より秋のふれあいレクリエーションと変更になりました。名称が変更となったことでどのような事を実施するのか分かり易くなったと思います。内容については、利用者を



▲秋のふれあいレクリエーション



▲秋のふれあいレクリエーション

中心に、家族・職員・ボランティア・実習生が一緒になって、玉入れや綱引きを行うという運動会のような行事です。最近では、はまなす荘も高齢の方が多くなってきているので、体力的には難しいと思われましたが、実際に行なってみると、皆さん自分が出来る範囲で楽しく参加出来ていたようでした。来年度は新しい運動も取り入れていきたいと思えます。

ピープルワン 招待行事

十二月三日(火)、ボランティアグループのピープルワンによる招待行事があり、いわき駅近郊にある珍珠楼へ出掛けてきました。

利用者さん十三名、職員三名、ピープルワン六名の合計二十一名の参加となりました。珍珠楼では、美味しい本格中華料理を頂き、ピープルワンの方々とも歓談し、楽しいひと時を過ごす事ができました。ピープルワンの皆様方、どうもありがとうございました。



▲ピープルワン招待行事



▲クリスマス・忘年会



▲障がい者週間記念行事

障がい者週間記念行事

十二月六日、障がい者週間記念行事を実施しました。

今年は二班に分かれての実施となり、一つは、平窪地区内の清掃活動とグラウンドにてチューリップの球根の鉢植えを行う班。もう一つは、グラウンドにてチューリップの球根の鉢植えを行う班。

どちらも外での活動でしたが、



クリスマス・忘年会

十二月十二日(木)パレスいわやにて平成二十五年度クリスマス・忘年会が開催されました。

讃美歌やキャンドルサービスで始まり、いわき福音協会の理事でもある黒田昭一牧師よりクリスマスについてのお話があり、大変勉強になりました。

乾杯後は、おいしい料理に話も盛り上がり、頬を赤くして歓談する姿が見られました。

待ちに待ったプレゼント交換では、サンタクロースに扮した職員とビンゴゲームを楽しみながら、プレゼントはどれにしようかと悩

天気にも恵まれて暖かい中での実施となりました。

自分の名前が書かれた鉢に土を入れ、チューリップの球根を植え、じょうろで水を遣り、ウッドデッキに置くまでの流れを利用者の皆さんは楽しんで行っていました。

春にはきれいなチューリップがたくさん咲くのが今から待ち遠しいです。



▲クリスマス・忘年会

む方が多くいたようです。また、自分が準備したプレゼントは誰が持っていたのか密かに気にしている人もいたようです。

今年も、地域の皆様やボランティアの方へ出席して頂き、総勢約百名で盛大に開催することが出来ました。日頃の感謝の意を込め一年を締めくくれたと感じています。

1 班

十月三十一日～十一月一日、グループ旅行1班として、山形県へ行きました。

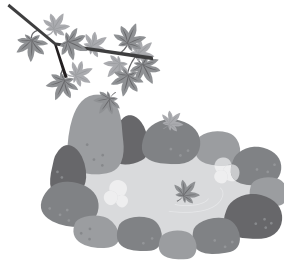
一日目は加茂水族館を見学しました。アシカショーを見たり、多種類のクラゲやたくさんのお魚を見たり、クラゲソフトを食べて楽しみました。夜は由良温泉ホテル八乙女に宿泊し、利用者の皆さんが楽しみにしていた宴会・カラオケを行い盛り上がり、温泉で癒されて来ました。

二日目はりんご狩りを行い、おいしいりんごを食べました。

二日間とも天気にも恵まれて、利用者の皆さんは満足したようで、「楽しかった」、「また行きたい」等の感想が聞かれました。



プ 旅 行



医務日帰り班▶11/14 スパリゾートハワイアンズ
日帰り班▶12/2 日立がみね公園・五浦観光ホテル



2 班

十一月十二日～十三日、グループ旅行2班として、ディズニースキー・勝浦温泉へ、利用者十五名・職員八名で出掛けてきました。

当初は十月の予定でしたが台風接近により延期となり、今回は天候にも恵まれ、一日目の目的地ディズニースキーでは昼食や買い物、パレード見学と夢の国を楽しみました。利用者さんが楽しみにしている夜の宴会は勝浦温泉ホテル三日月にて美味しい食事とカラオケで盛り上がりました。二日目は快晴でホテルから眺めた青い海に感動！九十九里浜を右手に見ながら一路成田へ。二日目の目的地航空科学博物館へ到着。成田空港から離発着する飛行機を見学し、大空の夢を体感しました。家族へのお土産を買い、車中で食べるおやつも楽しみ、二日間の旅を満喫しました。

医務 日帰り班

十一月十四日(木)、グループ旅行医務日帰り班が行われました。

利用者さんの身体機能の低下から車椅子使用者が増え、体調面を考慮して、今年はずパリゾートハワイアンズに行きました。

施設見学では、震災の影響で以前と変わった舞台観客席を見学し、ハワイアンなお土産の購入を楽しんだ後、併設されたホテルで美味しい食事を楽しみました。また、昼食後は利用者さんからの要望の高いカラオケとビンゴゲームを賑やかに楽しみ、少し残った時間に紙芝居を職員が行い、一日ハワイアンズではありましたが、外の肌寒さを感じず暖かくゆっくりとした楽しい時間を過ごしました。



グ ル ー

- 1班 ▶ 10/31 ~ 11/1 由良温泉・りんご狩り
- 2班 ▶ 11/12 ~ 13 ディズニーシー・勝浦温泉

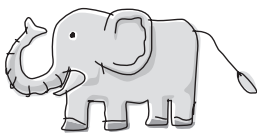


日帰り班

十二月二日、グループ旅行日帰り班を実施し、日立かみね動物園と五浦観光ホテルに行ってきました。

初めに、日立かみね動物園に行きました。平日のため、人も少なく皆さん自由に見学する事ができました。

次に、五浦観光ホテルにて昼食と買い物を行いました。宴会場は二階でしたが、断崖絶壁であり、海の上にいるような会場でした。食事は海鮮物が中心で刺身・煮魚とかかなりのボリュームであり、ご飯をおかわりする利用者もいて、皆さん満足し帰って来ました。



イベント

いわきの町を きれいにする運動

十月二十二日、はまなす荘にていわきの町をきれいにす



る運動を実施しました。

利用者・職員で手分けし、はまなす荘敷地内の草引き・ゴミ拾いを行いました。皆さん、限られた時間の中、一生懸命取り組んでいました。

最後に駐車場に集合し、ティータイムをして終わりました。

皆さんが一生懸命取り組んでくれたおかげで、きれいなはまなす荘になりました。お疲れ様でした。

桜ヶ丘愛生園との 自治会交流会

十一月十四日(木)、桜ヶ丘愛生園・はまなす荘自治会交流会が行われました。

今年、桜ヶ丘愛生園にはまなす荘自治会利用者五名と職員二名が訪問し、歓迎の横断幕を持った桜ヶ丘愛生園自治会利用者さんに出迎えて頂きました。

自治会会長の案内・説明にて施設見学、昼食、交流会を行い、質疑応答の情報交換を



▲桜ヶ丘愛生園との自治会交流会

しました。その頃にはお互いに緊張も取れ、笑いながらビンゴゲームとお茶会を行いました。はまなす荘との違いに驚きながらも勉強になる楽しい一日を過ごしました。

面会日



十一月二十二日(金)に面会日を実施されました。

十七名の保護者の方が参加され、各棟のお掃除を利用者・職員と一緒に、また、お茶会として近況報告や先日実施された、みはま愛護の会研修旅行を撮影した映像などを観賞し、交流を深めました。

お茶会の中では、はまなす荘でのおいしい食事提供についてやインフルエンザや感染性



長野県阿南町 キウイ寄贈



十二月二日、阿南町よりキウイフルーツを寄贈して頂きました。

記念として、以前に頂いた千羽鶴と一緒に写真を撮りました。後日、昼食にデザートとしておいしく頂きました。

ありがとうございます。



胃腸炎、O-157などの今後流行の恐れのある感染症対策についてなど話し合いが持たれました。



第三者評価

十二月十九日、一月八日にはまなす荘は第三者評価を受けました。

詳細につきましては、次号のはまなす会報にてお知らせしたいと思います。

寄附

イトーヨーカ堂様
田島 義夫 様 (順不同)

表彰

全社協会長表彰
猪狩まさ子
県知事感謝状
蛭田 美幸
市大会表彰
椎名 麻井
阿部千代子

編集後記

今年も寒い冬の季節がやってきました。

冬といえばコタツにミカンを思い浮かべますが、温かいコタツでうたた寝して風邪をひかないよう、皆様、体調管理には気を付けてお過ごし下さい。